

よこぼり喜一郎きいちろう 県議会報告

●発行 / 民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町1-5

平成24年2月議会報告 (2月17日～3月16日)

圏央道と工業団地の一体整備を要望

平成24年度2月議会にて横堀喜一郎県議(茂原市選出2期)は民主党会派を代表して質問日初日に登壇。県政全般に関する事案や地元の諸課題について県執行部に対して質しました。全県的問題である地震津波対策等の防災対策や県北部で懸案の放射能除染問題、更に地元、茂原市長生郡の産業振興の要となる圏央道建設と茂原にいはる工業団地の一体整備について強く要望しました。

会派を代表して質問に立つ横堀県議



茂原にいはる工業団地について

横堀議員

千葉県は本年度中に新たな工業団地整備計画を決定するとしています。現在の候補地は袖ヶ浦椎の森工業団地と茂原にいはる工業団地の2か所を候補地にしています。

昨年12月の工業団地検討委員会において袖ヶ浦椎の森工業団地は整備の方針が示されたが、「茂原にいはる工業団地」用地の造成に関して整備決定に至らなかった。

茂原にいはる工業団地整備について、県はどのように考えているのか。

坂本副知事

茂原にいはる工業団地については、アクアラインの料金引下げや圏央道の整備の進展により、立地優位性が飛躍的に高まると期待しております。

現在、検討委員会の意見を踏まえ、工業団地に立地する企業もたらす税収や雇用など地域経済に及ぼす効果について検証を進めており、今年度末までには結論を出してまいります。

【要望】

圏央道とセットになった工業団地は、長生茂原地区だけではなく、千葉県にとっても重要なことで、必ずや前向きなご検討をいただきたい。

圏央道について

横堀議員

圏央道は工業団地整備の決定的な要因であり尚且つ、将来起こりうる東京直下型地震等に対する災害復旧道路となる。

平成24年度の開通目標を確実なものにしなければなりません。そこで、圏央道の東金・茂原・木更津間の進捗状況はどうなっているのか。

森田県知事

- 1 圏央道は、東京湾アクアライン等と一体となって人や物の動きを活発にし、地域経済の活性化や観光立県千葉の実現を図る上で、大動脈として機能する極めて重要な道路です。
- 2 東金から木更津間、現在、平成24年度の開通に向け、全線にわたって工事が進められています。

横堀議員

圏央道を更に使い勝手の良いものにすべく、県道千葉茂原線及び千葉大網線付近に地元市町が要望しているスマートインターチェンジの検討状況はどうなっているのか。

森田県知事

- 1 県道千葉茂原線及び県道千葉大網線付近のスマートインターチェンジについては、本年1月に地元市・町によって、県や学識経験者等も参加する地区協議会が設置され、位置や構造等の具体的な検討が進められているところです。
- 2 県としては、早期実現に向けて、地元市・町へ積極的に協力していくとともに、引き続き国などへ強く働きかけてまいります。

よこぼり喜一郎プロフィール

1959年12月 茂原市生まれ
茂原小学校、茂原中学校卒業
1978年 3月 長生高校卒業
1982年 3月 一橋大学法学部卒業 味の素 入社
1992年11月 株式会社横堀本店入社 現在に至る
2007年 4月 千葉県議会議員選挙当選
2011年 4月 2期目当選
現在 県土整備常任委員、民主党第11区
総支部幹事長、茂原市青少年指導員、
茂原市体育指導委員
趣味 早朝ランニング
献血 現在126回 目標200回

3月29日、千葉県が「茂原にいはる工業団地整備決定」を発表しました。

平成25年度から本格着工、平成29年度以降に分譲予定です。団地整備の決定が遅くなりましたが、ようやく皆様に吉報をお届け出来ます。長年この件に携わってきた、先輩議員、県庁職員、茂原市職員の方々の御努力に敬意を表します。